

市の考えを問う 一般質問

6月10日・11日・12日の3日間行われた一般質問の主な質問（Q）と答弁（A）の概要を掲載します。

より、1階のカウンターが前に出て、2階から受付の状況が見えてしまうので、プライバシー保護のために設置するものである。

ふるさと振興発信事業

Q ふるさと納税の記念品に地域色を出すための取組は。

A 産業振興課長 記念品に鶴ヶ島らしさ、鶴ヶ島色を出すべく、パートナー企業や農家の方々に御協力をいただいた。これを機に、農業の6次産業化又は商工連携を促進したい。新規事業として、

特産品開発支援事業を企画・準備している。

臨時福祉給付金事業

Q 事業の目的と支給する金額は。

A 福祉政策課長 消費税率の引き上げによる低所得者の負担を軽減するもの。対象者1人につき、6千円を給付する。

子育て世帯臨時特例給付金事業

Q 事業の目的と支給する金額は。

A こども支援課長 消費税率の引き上げによる影響を踏まえ、子育て世帯に対して臨時特例的な給付措置を行うもの。対象者1人につき、3千円を給付する。

道路舗装修繕事業

Q 修繕する市道の選定の基準は。

A 道路建設課長 昨年度、路面性状調査を市内65路線で実施し、17路線を舗装修繕が必要であると判定した。その中で優先度が高い脚折地内と上広谷地内の2路線の修繕を行うこととした。

投票率の向上に向けて

金泉婦貴子 議員



啓発と利便性の向上に努めていく

今年統一地方選挙は、県議会議員選挙、市議会議員選挙ともに低投票率であった。民意の反映には、投票率の向上は不可欠である。

質問一 投票率の向上のために取り組んだことは。

二 20歳代、30歳代の投票の状況と投票率向上のための取組は。

三 投票率の向上には何が重要か。

答弁一（選挙管理委員長） 広報

及びホームページへの掲載、市内公共施設、金融機関等へのポスターの掲示、のぼり旗等による周知のほか、防災行政無線、大型店舗などの店内放送、啓発品の配布などによる投票の呼び掛けも行った。

二 20歳代、30歳代の投票率は、低い傾向にある。大学生に投票事務に従事してもらい、選挙の大切さを学んでもらっている。成人式

では、新有権者向けの選挙パンフレットによる啓発を行っている。

三 有権者に政治への期待と関心を持つてもらうことが重要である。また、有権者側の投票に参加する努力も必要である。なお、投票環境の制約により、有効な投票機会



投票箱

を提供できていない側面があるならば、できる限り解消・改善し、投票機会の創出や利便性の向上に努める必要があると考えている。

◎その他の質問
郷土愛を育むために

おわびと訂正

市議会だより第171号4ページの平成27年第1回臨時会審議結果の表中、議案第43号の近藤英基議員の表示及び賛成者数が誤っていました。

正 ⇒ 除斥 16
誤 ⇒ ○ 17

※監査委員に近藤英基氏を選任する議案であるため、本人は審議に加わっておりません。おわびして、訂正させていただきます。

贈らない 求めない 受け取らない

選挙の有無にかかわらず、政治家が選挙区域内で寄附を行うことは、特定の場合を除いて一切禁止されています。また、有権者が求めてもいけません。ご注意ください！

禁止されている寄附の例

- ・祭りへの寄附や差し入れ
- ・運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ
- ・自治会等の集会や旅行等の催し物への寄附や飲食物の差し入れ
- ・冠婚葬祭における贈答 など